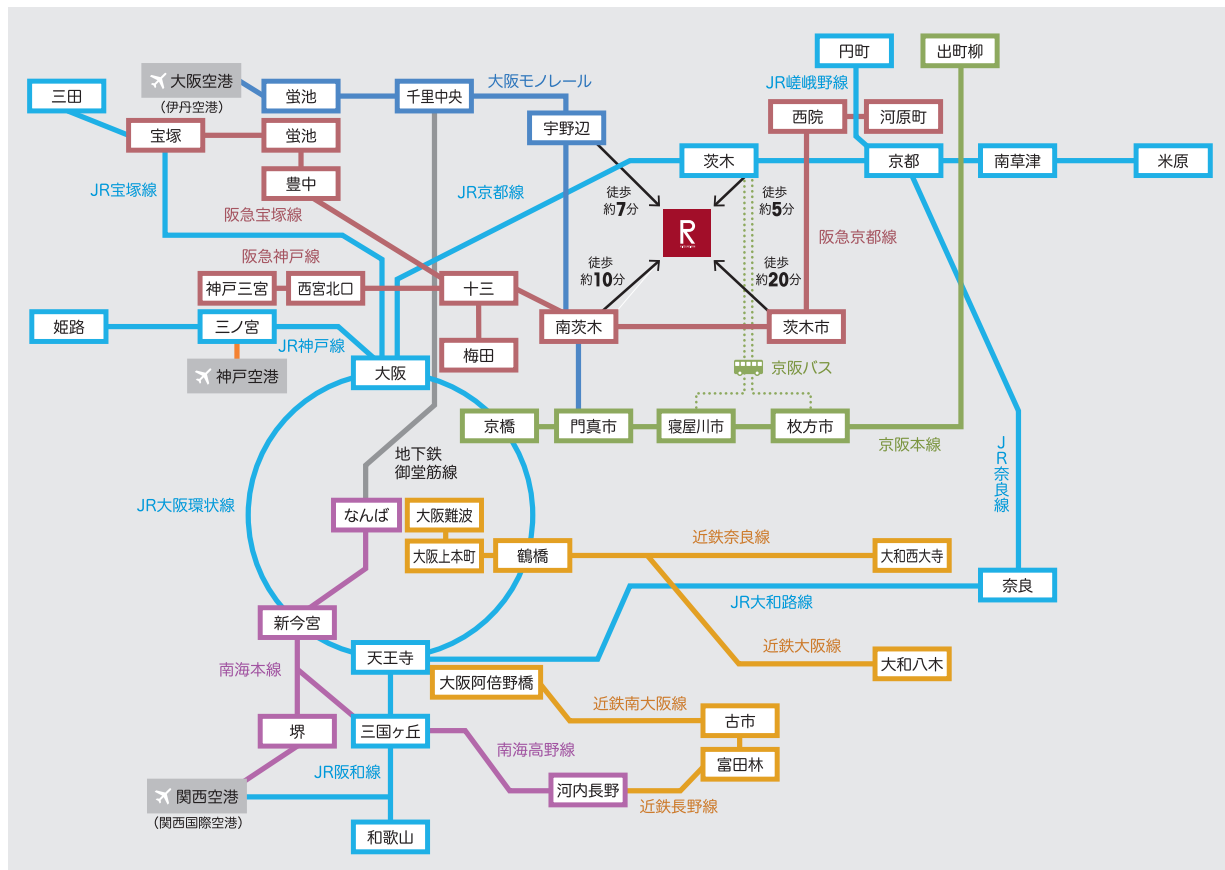




[京都・滋賀方面から]

① JR京都駅～JR茨木駅(所要時間:17分)



② JR米原駅～JR茨木駅(所要時間:72分)



[大阪市内方面から]

① JR大阪駅～JR茨木駅(所要時間:11分)



② 阪急梅田駅～阪急南茨木駅(所要時間:18分)



③ JR天王寺駅～JR茨木駅(所要時間:26分)



[神戸・姫路方面から]

① JR三ノ宮駅～JR茨木駅(所要時間:41分)



② 阪急西宮北口駅～阪急南茨木駅(所要時間:24分)



③ JR姫路駅～JR茨木駅(所要時間:72分)



[門真・枚方・寝屋川方面から]

① 大阪モノレール



② 京阪バス



[大阪南部・和歌山方面から]

① JR和歌山駅～JR茨木駅(所要時間:92分)



② 南海電鉄河内長野駅～JR茨木駅(所要時間:48分)



[奈良方面から]

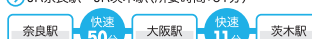
① 近鉄大和西大寺駅～JR茨木駅(所要時間:49分)



② 近鉄大和八木駅～JR茨木駅(所要時間:54分)



③ JR奈良駅～JR茨木駅(所要時間:61分)



※所要時間には乗り換え時間を含みません。

●大阪いばらきキャンパス周辺MAP



Ritsumeikan University College of Comprehensive Psychology



立命館大学 総合心理学部

2016年4月設置構想中

(2015年4月設置届出予定) ※内容は予定であり変更する場合があります

人に、社会に、総合心理学の 「知」が生きる。

多角的な視点から人間をとらえ

「人間」そのものを総合的に理解する。

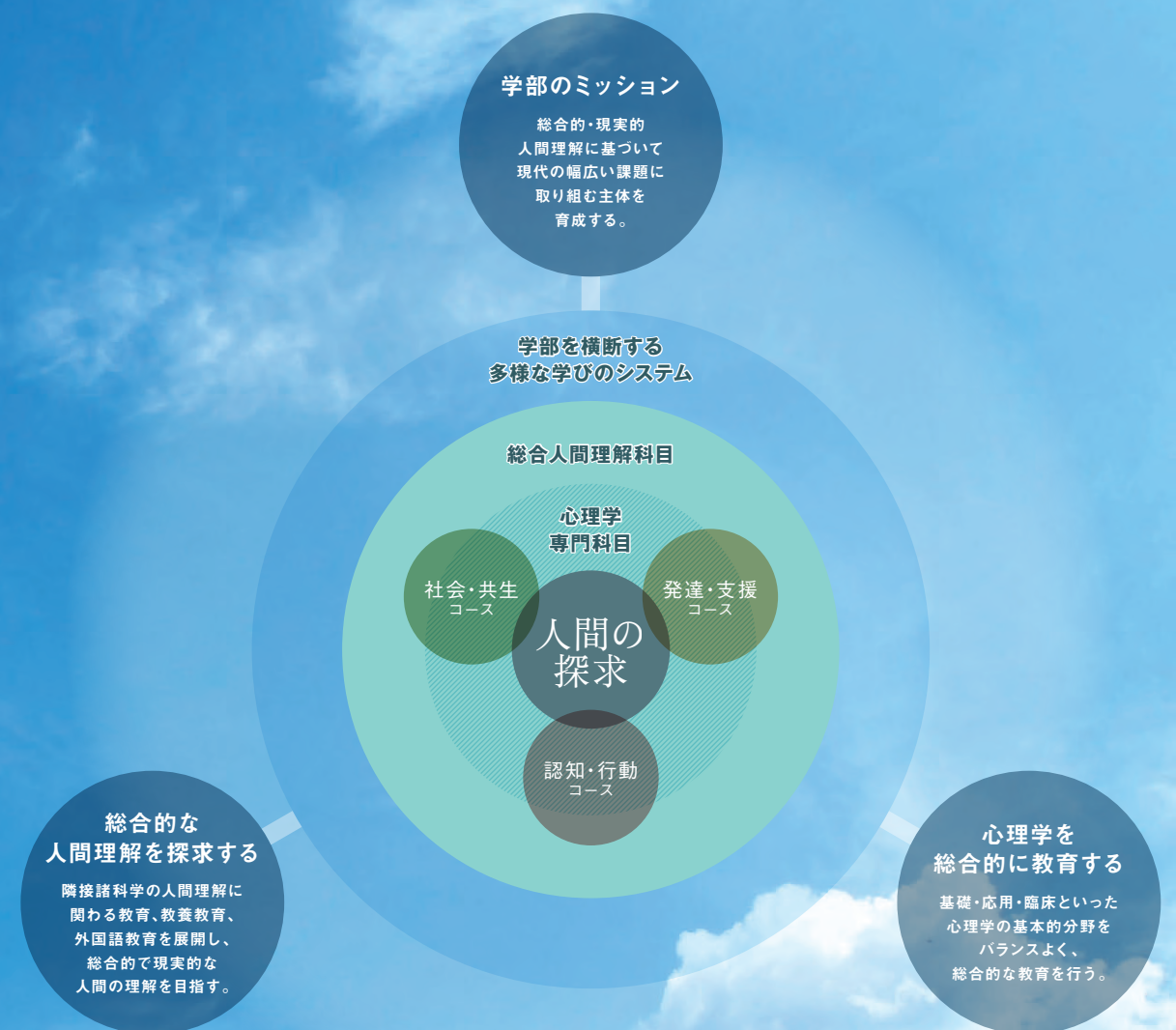
科学的な実証に基づく基礎心理学から

人に対峙する応用心理学まで

多岐にわたる心理学を総合的に学ぶ。

総合心理学で獲得する「知」が

今、社会のあらゆる場所で求められています。



社会で、家庭で、企業で、人生で生きる 総合心理学部とは？

立命館大学総合心理学部が始まるのは、従来の心理学教育とは一線を画した新しい学び。人間を総合的に探求することをめざして、心理学と多様な隣接分野に出会います。魅力あふれる教員が、人間を深く知るおもしろさを教え、大きな成長を後押しします。



中村 正 教授
応用人間科学研究科
総合心理学部設置委員会
副委員長

矢藤 優子 准教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)

谷 晋二 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)

大石 衡聡 准教授
現・スポーツ健康科学部・講師
(総合心理学部着任予定)

安田 裕子 准教授
現・立命館グローバル・
イノベーション研究機構・准教授
(総合心理学部着任予定)

「心理学」というと、皆さんはどのような学問をイメージするでしょうか？ 人の心を癒す？ 心理テストで心を読む？ それは心理学のごく一面にしかすぎません。心理学とは、人間の心と行動を多角的な視点から探求する科学です。人間を総合的に理解することで、家庭、学校、企業、地域など社会のさまざまな場面で課題解決に役立ち、自分自身はもちろん、他の人も幸せにすることができる。いわば現実との関わりの中で生かせる、「社会で使える心理学」。そのような心理学を学ぶことができる立命館大学総合心理学部の魅力について、関係する先生方に話し合っていました。

人間を総合的に理解することをめざして 総合心理学の学びは始まります

中村 総合心理学部では、人間そのものを総合的に探求することを重視します。哲学や倫理、文学、法律や経済など、幅広い科目を用意するのは、そのためです。しかも、単なる教養としてではなく、「心理学を学ぶ上でどう生かされるか」という観点から各学問と心理学との接点を学ぶところが特長。例えば、経済における消費者心理、法と被害者心理など、人の営みのあらゆるところで心理学は役立ちます。他にはない隣接科目が揃った「総合人間理解科目」を通じて、多角的に人間を見

つめる「目」を養う。それが、これから心理学の専門性を磨いていく上での根幹になります。

矢藤 総合心理学部のもう一つの特長は、基礎心理学から応用心理学まで、多岐にわたる心理学の分野を総合的にバランスよく学べるところです。4年間を通じて、実験や心理検査などを通じて人間の脳の働きや心理、行動を解き明かす基礎心理学を基盤に、臨床心理学をはじめとした応用心理学分野へと学びを深めていきます。例えば人の目や脳の錯覚である「錯視」、ハトの行動から明らかにする「学習」のメカニズム、総合心理学部では、実に多様な基礎心理学を学ぶことができます。その他にも、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで、人の一生を発達と捉え、その時間的な変化を線で追っていく発達心理学も興味深い分野です。総合心理学部には、乳幼児から高齢者まで、あらゆる発達段階の発達心理学を専門とする教員が揃っており、充実した学びを得ることができます。

育てるのは、専門家だけでなく 心理の素養を備えたゼネラリスト

谷 総合心理学部では、基礎心理学と密接に関わる応用心理学についても幅広い分野を学ぶことができ

す。臨床心理学は、対人援助の専門知識や技術のみならず、自分の人生を豊かにしたり、家族や子ども、あるいは職場の人と共に幸せに生きていくためのポジティブな素養を身につける学問です。総合心理学部では、臨床心理学の基礎知識を学ぶとともに、実習を通じて対人援助の実践について知っていきます。例えば3回生の実習では、裁判所や病院など臨床現場で働いている人から仕事内容、葛藤や悩みなどを聞き、自分に適性や希望があるのかを考えます。その上で4回生ではカウンセリングを疑似体験するロールプレイにも挑戦。専門的な仕事にさらに一歩近づきます。こうした学びを経ることで、対人援助や心理の専門家になる道が開けます。さらにより専門性の高い臨床心理士や、新たな国家資格として創設が見込まれている「公認心理師（仮称）」をめざす人には、大学院への進学も待っています。

安田 心理学の素養が生きるのは、心理の専門領域だけではなくではありません。とりわけ現代では、対人関係を円滑にしたり、論理的に物事を解決するなど心理学の素養は、社会のさまざまな場面で求められています。資格を取得し、「心理学のスペシャリスト」になるだけでなく、「心理学の専門性を備えたゼネラリスト」として、活躍のフィールドは、企業や行政、その他にも多様に広がっています。

「プロジェクト発信型学習」を通じて 国際社会で活躍できる力を養います

大石 総合心理学部での学びは、受け身の姿勢で講義を聴くだけに留まりません。重視するのは、アクティブに学ぶ、プロジェクト的に学ぶこと。実験や心理検査以外にも、数々の実習や演習を用意。学生自身が課題を発見し、自分で調べ、考えることを通じて解決策を導き出す「問題解決型の学び」がたくさんあります。中でも特筆すべきは「プロジェクト発信型英語」。心理学のテーマを中心に、学生自身が興味・関心を持ったテーマについてリサーチをし、仮説を立てて実験を行い、その成果を英語で発信します。さらには英語でのディベートも体験します。「プロジェクト発信型英語」を通じて、国際社会で活躍するための英語力が鍛えられることはもちろん、論理的思考力やコミュニケーション能力など、社会で必要とされる力が着実に養われます。

谷 心理学の素養は、社会で、家庭で、企業で、そして人生を歩く上で心強い糧になってくれるもの。何より自分自身や人を深く知れば知るほど、そのおもしろさに引き込まれていくはず。高校にはなかった新しい学問との出会い、知的刺激に満ちたワクワクする学びが、皆さんを待っています。

心理学の
基礎・展開・専門と幅広い
応用力を段階的・系統的に
育成します。

基礎心理学から応用心理学まで、多様な心理学分野をバランスよく学習し、さらに人文科学や社会科学などの領域も学び、人間を探究する4年間。1回生から段階的・系統的に専門性を身につけていきます。心理学の知識・スキルだけでなく、少人数で行う演習やプロジェクト型学習を通じて、問題解決能力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など幅広い応用力を育成します。



STEP 1

心理学を知る

人間を総合的に理解するための基礎的な素養を習得します。「教養科目」、「総合人間理解科目」および「学部共通専門科目」を通して、人間理解や自己理解、対人関係の基本、多様な心理学の基礎知識を学びます。

STEP 2

基礎と応用を学ぶ

心理学の基礎理論を通して心理学の全体を見渡し、応用的な学びに臨む素地を形成。また、「基礎実験実習」では、心理学における実験の手法と基礎的概念などを学習し、「心理アセスメント実習」では、広い人間理解を基盤にして専門的な知識と技術を体系的に学習します。

STEP 3

知識と実践を深める

心理学の専門科目や隣接する領域の学びを深めると同時に、「プロジェクト研究」などを通して、心理学および関連する領域から学生自身が興味・関心を持ったテーマについて、リサーチし、その成果をレポートにまとめて発表します。また、「専門演習」では、専門的な学力とともに、プレゼンテーションやクラス内での議論を通して、コミュニケーション能力を養い、幅広い応用力を身につけます。

STEP 4

研究をまとめ、未来への扉を開く

4年間の学習の集大成として「卒業研究」を実施。学生自身が設定した研究テーマについて、実験、観察、調査、フィールドワーク、面接などこれまでに習得した心理学の専門知識と技術を活かして実証研究を行い、卒業論文としてまとめます。また、論文作成の過程や成果を発表する機会を通して、自身の考えをまとめ、情報を発信する実践的な技術を身につけます。

			1 回生		2 回生		3 回生		4 回生	
外国語科目			英語 P1 英語 S1 英語 P2 英語 S2		英語 P3 英語 S3 英語 P4 英語 S4					
基礎科目			リテラシー入門 社会の中の心理学		プログラミング入門 国内フィールドスタディ		海外フィールドスタディ			
専 門 科 目	コース専門科目	認知・行動コース 専門科目	認知心理学概論		行動分析学 生理心理学 思考心理学		認知科学 知覚心理学 学習・記憶心理学論 応用行動分析学		認知情報論 色彩論 応用認知心理学 障がい児(者)心理学 認知・行動特殊講義 認知行動療法論	
		発達・支援コース 専門科目	発達心理学概論		乳幼児心理学 青年心理学 教育心理学		児童心理学 中高年心理学 進化心理学 発達臨床心理学		言語発達論 ジェンダー心理学 家族療法論 キャリア形成論 発達・支援特殊講義 学校カウンセリング論	
		社会・共生コース 専門科目	社会心理学概論		実験社会心理学 コミュニティ心理学 臨床社会心理学		メディア心理学 法心理学 衣食美心理学		パーソナリティ心理学 コミュニケーション心理学 文化心理学 社会・共生特殊講義 健康心理学 芸術療法論 ナラティブ療法論	
	学部共通専門科目	共通専門科目	心理学概論 総合心理学入門	心理学統計法	臨床心理学概論 心理調査法概論 心理学研究法Ⅰ		心理学史 心理学研究法Ⅱ 心理学研究法Ⅲ		医学総論 プロジェクト研究Ⅰ 心理学データ解析法	
		総合人間理解科目	現代人間論	人間観の探求	政治と人間 経済と人間		家族と人間 組織と人間		現代家族論 組織行動論 総合人間理解特殊講義 行動経済論	
		専門外国語科目							専門英語(心理学)Ⅰ 専門英語(心理学)Ⅱ	
		実験・実習科目	基礎実験実習Ⅰ		基礎実験実習Ⅱ		心理アセスメント実習Ⅰ		心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ	
		演習科目	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	展開演習Ⅰ		展開演習Ⅱ		専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	
								専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究		

コース別の学びと 学部横断的な学びで 総合力を養成。

「認知・行動」「発達・支援」「社会・共生」の3つのコースに分かれ、心理学の専門分野を系統的に学びます。コース別に専門性を深めると同時に学部横断的な学びを重視。総合人間理解科目や、実験・実習、演習、外国語教育科目といった学部共通の科目はもちろん、他コースの専門科目もコースを越えて履修することができます。人間に対する総合的な理解、幅広い心理学分野の知識を蓄積しつつ、その上に専門性を磨いていきます。

認知・行動 コース

心のはたらきと行動の仕組みを 実証科学で探求する

人の心のはたらきと行動の仕組みを実験的方法を用いて科学的に探求し、人間理解を深めます。「知覚心理学」「認知心理学」「認知科学」などの科目を通して、人間がどのように環境を認識し、情報を記憶し、判断や思考するのかを学習します。また「学習・記憶心理学」「行動分析学」「認知情報論」などでは、生物学的な背景を踏まえて、動機の形成や学習の過程を考えます。「応用行動分析学」「色彩論」「認知行動療法論」では、心理的諸問題に対処するための環境を適切にデザインし、実践的に介入する方法についても学びます。

発達・支援 コース

乳児期から高齢期まで 各発達段階を捉える

発達・支援コースでは、乳児期から高齢期まで人間の発達について生物学的次元から社会・文化的次元までさまざまな知識を獲得し、発達のメカニズムを学習します。「乳幼児心理学」「児童心理学」「青年心理学」「中高年心理学」などでは、各発達段階における人間の特徴について深く学習します。その他、「教育心理学」「学校カウンセリング論」「発達臨床心理学」など、学校や家庭、地域での臨床的発達支援についての知識・技術も習得します。

社会・共生 コース

社会の現代的な対立や問題を 心理学から解決する

自己と他者の関係といった身近な対人関係から、地域やグローバル社会で発生する紛争問題までさまざまな人間関係における問題とその解決について、心のはたらきと行動の仕組みをひも解きながら学習します。「実験社会心理学」「パーソナリティ心理学」などで、社会の中での人間の行動を分析。その他、「メディア心理学」「法心理学」「コミュニティ心理学」「文化心理学」など社会で起こる現代的な課題を心理学の立場から解明し、対立や問題を解決する方法を学びます。

総合人間理解科目

多角的な視点から人間を総合的に理解する力を育み、心理学の学びを深め幅広い教養に結びつけます。「現代人間論」や「人間観の探求」といった科目で、社会思想、哲学、政治に関わる分野を学び、人間についての総合的理解の基礎を養います。また「家族と人間」「行動経済論」「組織と人間」「組織行動論」などを通して、家族や組織、経済を心理学的な視点から理解する他、社会科学や人文科学の幅広い教養・知識を習得。一般社会でキャリアを重ねる上で必要な力も養います。



学部横断的な学び、アクティブな学びで、専門性の基盤となる総合力を育成します。

多様な心理学に通じる総合力を育てる 学部共通専門教育

「人間を総合的に理解」し、また「心理学の幅広い分野を学習」した上で専門分野の素養を積み重ねていくところが総合心理学部の特長の一つ。心理学分野の共通基礎となる科目や、心理学の各分野を横断して学習すべき内容、また心理学分野全体に通じる研究方法や技能を獲得するための科目は、「学部共通専門科目」とし、全学部生が履修します。学部共通専門科目に位置づけられているのは、「共通専門科目」「総合人間理解科目」「演習科目」「実験・実習科目」「専門外国語科目」。「共通専門科目」では、心理学の諸分野について広く学ぶ「心理学概論」や、「心理学研究法」、「心理学統計法」などの心理学を研究するために必要な手法について学びます。また少人数のゼミナール形式で研究・発表に取り組む演習、さらに応用や実践につながる実験やフィールドワーク、心理学を通じた外国語学習にも全学部生が取り組みます。



グローバルに活躍するための 英語教育「プロジェクト発信型英語プログラム」

本プログラムは、学生自身が興味・関心を持ったテーマについて、世界中から情報を集め、リサーチし、その成果を英語で発信するという新しい学習スタイルです。卒業後も、一生涯、心理の専門家として、また、一般社会でも国際的に活躍できる英語運用能力を養成します。



問題解決型学習(PBL方式)など 多様なアクティブラーニング

学生自ら課題を発見し、調査・研究を通じて解決し、論文作成や発表・議論につなげるプロジェクト型の学びを実施。また実験・実習、地域や臨床現場と連携したフィールドワークなど、アクティブに学ぶことを通して、深い納得を伴う実践力を育てます。



海外で心理学を学ぶ 学部独自の国際教育

心理学を海外で学ぶ「海外フィールドスタディ」を実施。事前の英語学習および心理学の基礎学習を経て、海外の大学で英語で心理学を学びます。海外の先進的な心理学教育に触れるとともに、国際社会で求められる異文化理解力も育みます。



臨床の専門家につながる 臨床実践教育

公認心理師(仮称)や臨床心理士などの専門家を目指す上で必要な臨床実践プログラムが充実。対人援助の領域で活躍する人に学ぶフィールドワークで臨床実践のあり方を学び、適性を知るとともに、ロールプレイなどの実践実習を通して具体的な技法や知識を学びます。





安田 裕子 准教授
現・立命館グローバル・イノベーション研究機構・准教授
(総合心理学部着任予定)
●生涯発達心理学



サトウ タツヤ 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●文化心理学
●質的心理学



廣井 亮一 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●司法臨床
●非行臨床
●家族臨床



星野 祐司 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●認知心理学
●実験心理学



矢藤 優子 准教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●比較発達心理学
●乳幼児心理学



若林 宏輔 准教授
現・立命館大学文学部助教
(総合心理学部着任予定)
●法心理学
●心理学史

北岡 明佳 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●知覚心理学
●神経科学



服部 雅史 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●認知科学
●思考心理学



大石 衡聡 准教授
現・スポーツ健康科学部・講師
(総合心理学部着任予定)
●心理言語学

人が幸せに
生きることを考える。
臨床心理学は、
とてもポジティブな
学問です。

授業のたびに
新しい自分を
発見します！

個性豊かな “知” が集結。 ますます充実 していきます。

興味のある心理学のテーマを
調べ、まとめ、発表する。
伝えたいことを伝えるから
楽しいんです。



宇都宮 博 准教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●発達心理学
●家族心理学



谷 晋二 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●発達障害のある子供と
その家族への包括的支援
●ACTを用いた対人支援



八木 保樹 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●社会心理学
●人格心理学



土田 宣明 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●発達心理学
●認知心理学



山本 博樹 教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●教育心理学
●発達心理学



中鹿 直樹 准教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●行動分析学
●対人援助学



林 勇吾 准教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●認知科学
●人工知能
●Human Computer Interaction

岡本 直子 准教授
現・文学部人文学科心理学域
(総合心理学部着任予定)
●臨床心理学



総合心理学部での学びは、
人の営みの
あらゆるところで
「使える心理学」です。

新教員とともに
学べる専門分野も続々増加！

〔着任予定教員の専門分野〕

- 認知心理学・生理心理学
- 行動分析学・認知行動療法
- 知覚心理学
- 認知心理学・発達心理学・法と心理学
- キャリア形成論・ジェンダー心理学
- 臨床心理学・文化心理学・カウンセリング
- メディア心理学
- コミュニティ心理学
- 哲学・思想
- 文化人類学
- 行動経済学
- 経営学・産業心理学
- 医療・発達障害支援

ほか



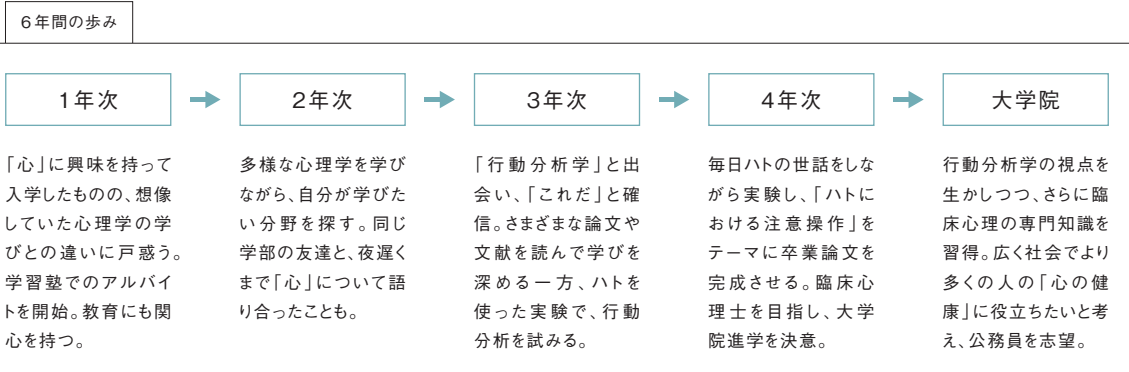
Voice
立命館の
心理学を学んだ
卒業生の声
01

基礎から応用まで多様な心理学領域を学ぶことができるのが、立命館大学の魅力です。その中で自分はどの分野に関心があるのか、模索しながら1、2回生を過ごしました。3回生の時出会ったのが、「行動分析学」です。それまで疑問に思っていたことが霧が晴れるように理解でき、学ぶことが一気におもしろくなりました。大学院を経て臨床心理士の資格を取得。自分の関心や疑問をトコトン追求することで、将来につながる高い専門性を身につけることができました。大学院で臨床心理学を学ぶ中で、一人ひとりと向き合う対人援助だけでなく、より広く社会の課題解決に役立ちたいとの思いが強くなり、公務員を志しました。現在は、行政の立場で自殺防止対策を担当しています。相談窓口を設置したり、社会・福祉専門職と連携したサポートの仕組みをつくるなど、制度や環境を整えるのが仕事です。人と環境との関わりを変えることで、より多くの人の「心の健康」に寄与することができるのが、やりがいです。

多くの人の「心の健康」に役立つのがやりがいです。

福間 仁志 さん／2008年 文学部心理学科心理学専攻卒業、2011年 応用人間科学研究科修士課程修了、臨床心理士

【勤務先】京都府 福祉・援護課



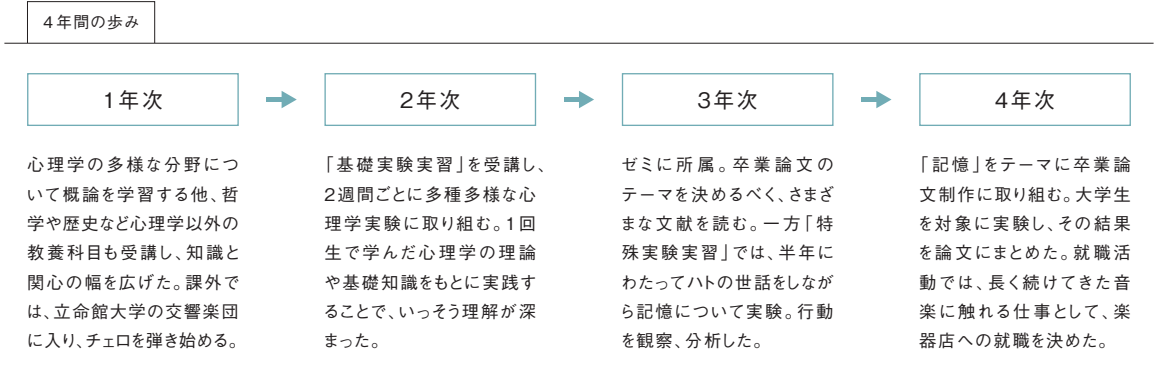
「記憶」とは何だろう？ 高校時代、そんな疑問を抱いたことが、心理学に関心を持つきっかけでした。大学での学びでとりわけ印象に残っているのは、「実験実習」です。2回生、3回生を通して、ハトを使った記憶の実験や、発汗量や皮膚感覚を測定する生理心理学実験など、さまざまな心理学実験に取り組みました。仮説を立て、実験を通じて検証し、結果を考察してレポートにまとめる。その繰り返しの中で、論理的な道筋を立てて考えたり、自分で確かめて結論を導き出す力が鍛えられました。卒業後は、子どもの頃から続けてきた大好きな音楽に携わりたいとの思いから、現企業に就職。現在は店舗での販売を担当しています。大学で心理学を学ぶ中で培った力は、今、お客様が求めていることを推し量ったり、論理的に考え、業務を円滑に進める上で欠かせない確かな糧になっていると感じています。お客様が「人生の相棒」となる楽器と出会うお手伝いをするのが私の役割。これから楽器を通じてたくさんの人の音楽生活を豊かにできたら、嬉しいです。

Voice
立命館の
心理学を学んだ
卒業生の声
02

心理学実験で鍛えた力が営業で生きています。

林 明日香 さん／2014年 文学部人文学科心理学専攻卒業

【勤務先】島村楽器株式会社 店舗営業部

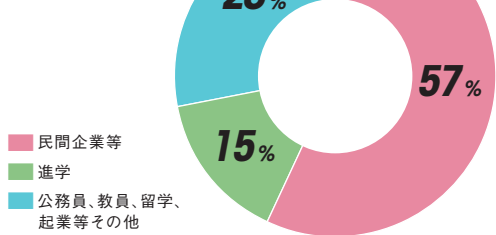


進路就職状況

■主な就職先

株式会社三菱東京UFJ銀行	西日本旅客鉄道株式会社
株式会社電通	株式会社高島屋
株式会社日立製作所	日本放送協会
株式会社JTB西日本	医療法人協仁会 小松病院
森永製菓株式会社	社会福祉法人洛西福祉会
全日本空輸株式会社	大阪府教育委員会
花王株式会社	京都府人事委員会
日本郵便株式会社	

文学部心理学専攻卒業生
進路就職実績
(2011～2014年度)



■取得可能な資格 ※予定、変更する可能性があります

臨床心理士※1	公認心理師（仮称）※2	認定心理士（社団法人日本心理学会認定資格）
心理調査士（仮称）	中学校教諭一種（社会）	高等学校教諭一種（公民）
産業カウンセラー受験資格		

※1：立命館大学では応用人間科学研究科が対応しています。

※2：現在、国会において創設の議論がされています（2014年10月時点）。学部・大学院において必要な単位を取得した上で、主務大臣が実施する試験に合格する必要があります。

よくある質問

Q 心理学は 何を学ぶ学問ですか？

A 心理学とは、人間や動物の心と行動を、理論や実験、調査、観察などの科学的なアプローチによって分析、解明する学問です。
例えば、学習・記憶・思考といった心の働きを研究する「認知心理学」や、発達プロセスを通して人間の心と行動の働きとその起源を探る「発達心理学」、人間関係や社会的文化的現象を分析する「社会心理学」、心理学の理論と技法を生かして心のケアなどの実践と研究を行う「臨床心理学」などがあります。

Q 総合心理学部は、 心理学部とどう違いますか？

A 心理学の中には、基礎心理、応用心理、臨床心理といった幅広い分野がありますが、総合心理学部では、心理学の基本的な分野を総合的に学ぶことができます。さらに、心理学と隣接する、例えば哲学、経済学や経営学といった領域も学べ、総合的で現実的な人間の理解を目指す点が特徴的です。

Q 総合心理学部で学ぶことで、 どのような力が身に付きませんか？

A 総合心理学部では、心理学の専門的な学習やプロジェクト型の演習科目、実験・実習科目などの学びを通して、課題発見力やコミュニケーションスキルといった社会で求められる力も獲得することができます。
例えば、人の消費行動を分析しマーケティングや広報に活用したり、行動科学的アプローチを用いて商品開発や営業に役立てたりする力が身につきます。教育や福祉などの対人援助の現場で必要とされる知識や技術を習得することも可能です。

Q 実験や統計などに興味があるのですが、 総合心理学部で実践できるのでしょうか？

A 心理学では、実証的な手法による研究が重要となりますので、卒業論文執筆に向けて、実験法や調査法、統計法など幅広く学ぶことが求められます。

Q 公認心理師（仮称）とは どのような資格ですか？

A 公認心理師（仮称）とは、保健医療、福祉、教育といった分野で、他の専門職と連携をとりながら、心理学に関連する専門的知識や技術を活用し、相談や助言などを行い、心理的な面から支援する専門職です。現在、国家資格として創設の議論が進められていますが、資格を取得するには、学部・大学院において必要な単位を修得した上で、試験に合格する必要があります。総合心理学部では、公認心理師（仮称）の資格が創設された時を想定して、カリキュラムを作っています。

Q 将来カウンセラーを目指しています。 臨床分野の学びは可能でしょうか？

A 公認心理師（仮称）を目指すことでカウンセラーといったような臨床分野の進路が想定されます。臨床心理士を目指す場合は、総合心理学部卒業後、本学の応用人間科学研究科（臨床心理学領域）に進学をすることをお勧めします。また、総合心理学部のカリキュラムでは、資格取得を目指さない場合でも、臨床教育の科目を履修することは可能です。

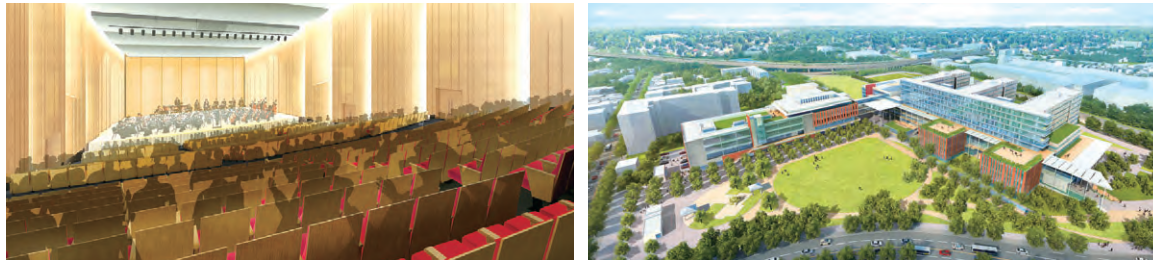
Q 英語が得意なのですが、 英語の力を伸ばすことはできますか？

A 総合心理学部の英語教育「プロジェクト発信型英語プログラム」では、人間の心と行動の理解をテーマに、情報を集め、英語で自らの考えを発信できる能力を養成します。将来的には、関連分野で国際的に活躍できることを目標としています。

大阪いばらきキャンパス

Osaka Ibaraki Campus

総合心理学部が誕生するのは、2016年4月。学び舎は、2015年4月に大阪府茨木市に開設する「大阪いばらきキャンパス」に設置されます。大阪いばらきキャンパスは、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、朱雀キャンパスに続く立命館大学の新しいキャンパスです。総合心理学部の他、経営学部・経営学研究科、政策科学部・政策科学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、経営管理研究科が集結。都市に立地するキャンパスの特性や、キャンパスを構成する学部・研究科の特徴を活かし、「アジアのゲートウェイ」「都市共創」「地域・社会連携」を教学コンセプトとして位置付け、立命館学園と社会の連携・交流のフロントラインとしての役割も担うキャンパスで、産業界や行政機関と連携した教育・研究を展開します。充実の学習環境を備え、社会に大きく開かれた新キャンパスが、総合心理学部での豊かな学びと大きな成長を後押しします。



※パースは2014年3月現在の検討段階のものです。岩倉公園部分は、現段階の茨木市の計画を基に大学が作成したものであり、変更される場合があります。

